



北原産業
代表取締役

北原 忠氏

活躍する食品容器の引き合いも、コロナ禍以前ほどには振るわない結果となりました。決して気が抜かず、

「蒼（あおい）」は慶弔問わず使用できる弁当容器です。深い緑色が印象的で、磁器を模した印刷が上

近年、物価の上昇や円安など、国内経済のインフレーションが続いていますが、今年も引き続きインフレーションから、インスピレーションを生み出そうという意気込みで、今後さらなる高騰が見込まれる状況です。そのような中ではあります。当社としてはこれまで通りひたむきにモノづくりに打ち込む所存です。不安定な情勢の中では、爾々と世の中に必要とされる物を

トカップ」など、他社にはまねできない製品もごさいます。個性のある容器こそ最大の強みであ

り、その個性がお客様の探していた物に合致すれば、必ず手に取って満足していただけるという自信があります。当社の製品を認めていただけたおかげで、昨年は増収増益で締めくくることができました。しかし

品に料理を引き立てます。発売以降好評な滑り出しで、展示会でも来場者様にご好評いただけました。設備投資としては、昨年は製函機2台と真空成形機、圧空成形機をそれぞれ導入いたしました。さらに既存の成形機の更新も予定しており、今後の生産体制を整えているところで

製品開発に泰然と打ち込む インスピレーションが鍵

原料価格や物流の2024年問題など、業界が抱える問題も多くございしますが、メーカーとしての立場からは、柔軟な発想力で良い製品を作り続けていくことに尽きると考えます。2024年も、北原産業らしさを存分に発揮していきたいと思っております。

製品開発に泰然と打ち込む

市場の声に耳を傾け、製品提案を続けていく所存です。一方で、弔事で使用される弁当容器も年々減少傾向にはありますが、会席膳・高級弁当用容器については、当社への引き合いは増加する形となっています。二